



湿度や気温の微妙な変化を感じる梅雨の季節になりました。特に今年は「寒暖差が大きい」等、気候不順な日も多く、大人も子どもも体調管理が難しいように感じます。

また子どもの場合は、大人のような「梅雨の季節だから・・・」という自覚がなく、急に不機嫌になる、泣きだす等で、不快感を示す事も多いようです。

特に湿度が高くなると、汗をかいてもカラッと蒸発しないで、皮膚にまとわり付く等、不快感が増してきます。ダラダラと汗をかいていなくても、タオルで汗をこまめにふき取る事や、水分補給がすぐにできるようにする等の健康管理を心掛けていきましょう。

また、次のような感覚・運動遊びを行なっていきながら、自分の体の感覚（ボディイメージ）や体力作りをしながら、元気に梅雨をのりきっていきましょう。

- *水遊びやボールプール等の感覚遊び。 → 気温や湿度の変化に適応する力を高めます。
- *サーキットやトランポリン等、全身を使った遊び → ストレス発散。心地よい睡眠。



～ 6月の主な行事予定 ～

5日 (水)	午前：稲津幼児園訪問 午後：お楽しみ会（風船太郎のバルーンショー）
6日 (木)	啓明保育園・中京幼稚園訪問
12日 (水)	一色幼児園訪問 放課後等デイサービス
13日 (木)	陶幼児園・あい保育園訪問
19日 (水)	瑞浪幼児園訪問 親子遊び
20日 (木)	みどり幼児園訪問
22日 (土)	岐阜県ことばを育てる親の会・県大会
24日 (月)	東濃特別支援学校、学校説明会
26日 (水)	日吉幼児園訪問 放課後等デイサービス
27日 (木)	桔梗幼児園訪問

園訪問

市内の保育園・幼稚園・幼児園を訪問します。

< 主な訪問目的 >

- ①通所している子どもの園生活の様子を把握する。
- ②園の担当の先生と、子どもについての情報交換をして、お互いに共通理解ができるようにする。

※個別支援計画書をもとにして、保護者、園、センターが、共通のねらいを持てるようにしたいと思います。

学校見学

職員と一緒に、学校訪問をして、就学について考えます。

< 主な訪問目的 >

- ①適切な就学先の選択・決定。
・授業見学を行う。
- ②情報交換の為の話し合いなど
・学校について説明を受ける。
・子どもの様子等を伝える。

学校訪問⇒日程調整中です。
・日程が決まり次第、担任を通してお知らせします。
※東濃支援学校の説明会の申し込みは、園を通してください。

岐阜県親の会・岐阜県大会 のお知らせ 6月22日(土) 13時30分～15時30分

岐阜大学の特別支援教育実践センターで開催されます。

- *総会・・・県・親の会の活動や各支部の状況等の報告があります。
- *学習会・・・「シンポジウム・・・当事者の声をきく」

内容：自閉症スペクトラムの診断された21歳男性の「自分探しの旅」「自分についてのプレゼン」





～ 学習会(就学)1 ～

5月15日(水)「就学についての学習会」を行ないました。
学習会の内容をご紹介します。

- *瑞浪市教育委員会、市川先生より
 - ・学校、学級の種類と主な内容について
通常クラス、特別支援教室、通級指導教室、特別支援学校
 - ・就学に向けての取り組みや流れについて
 - ・就学相談、就学支援委員会、学校見学等の就学のサポート
 - ・就学相談会・・・7月開催 (会場：子ども発達支援センター)
 - *瑞浪小学校、土屋教頭先生より
 - ・各学校や学級の特徴、活動内容等の紹介
 - ・特別支援教育⇒個の発達をしっかりと把握した支援
(一人一人の教育ニーズに応じての教育支援を行う。)
- ◎お二人の先生からは、「困った事があったら、いつでも相談に来てください」という暖かく頼もしいお言葉を頂きました。
ありがとうございました。※職員室に学習会の資料があります。

～ 学習会(就学)2 ～

親の会の協力もあり、今年は21人の参加者となり、どのお母さんも真剣に、市川先生と土屋先生の話をお聴きしていました。

その後の質問タイムでは、主に次のような質問がありました。

1. 発達検査や病院受診に関すること
2. 就学先の様子について
3. 子どもの実態の把握・理解について
4. 就学先決定の基準等はあるか

主な回答 ↓

*子どもの実態がより、分かりやすくなったり、保護者の気持ちの整理や安定のために、検査や病院受診、就学先の見学や相談を活用していく。

*就学先の最終決定は、保護者である。

～ 学校訪問 ～

1～3年生の修了児の様子を見てきました。

センターの職員を見つけると、ニコニコと手を振る子、少し照れくさそうな表情を浮かべる子、「何で来た？」と質問してくる子等、色々な反応を見せてくれました。

1年生の中には、時々、足をブラブラ、ソワソワする姿も観られましたが、ちゃんと落ち着いて座っている子ども達に、センター職員もホッと一安心でした。

※学校訪問やセンター支援の様子等を基に、学校の先生との情報交換会を行います。

※話の内容等については後日、お知らせします。

～ 保護者交流会 ～

学習会後の交流会では、お弁当を食べながら、OBの保護者(中学一年生のけい君、小学2年生のそうちゃん、きー君のお母さん)の子育て体験談を聞き、みんなで意見交流をしました。

その中には、「やはり、周囲の反応が気になる」等、お母さん達の率直な思いも多く聞かれました。

そんな中「みんな、段々たくましくなっていくから大丈夫。」という先輩お母さん達の声に、みんな思わず納得という表情でした。

たくさん悩んで、強くたくましくなった先輩お母さん達、ありがとうございました。

みんなでたくましいお母さんを目指しましょう。



～ 親子関係・家族について ～

保護者交流会では、お母さん達それぞれの話に、「分かる、分かる」「同じような思いをしている人がいる。」と、思わずうなづいたり、共感された方も、多かったように思います。保護者同士で、色々な思いを共有する時間となったと思います。職員一同、お母さん達の率直な話を聞く事ができ、とても勉強させて頂きました。お母さん達の話の中で多かった話題について、少し考えていきたいと思っています。

*「家だとヤンチャが激しくなる。」「お母さんの前だと駄々をこねる。」といった声がたくさんありました。
◎これは、乳児期から幼児期にかけての発達(親子を中心とした人間関係)の特徴とも言えます。
「お母さんを安全基地」「お母さんと一緒なら大丈夫」と母子一対といった乳児期から、「自分の気持ちや意志」が育ってくる幼児期。怒ったり泣いたりといった自己主張をしながら、少しずつお母さんと折り合いを付ける事を学んでいます。「心の成長」の為、ヤンチャ等にもしっかりと向き合っていきましょう。

*「就学先は、子どもの事を考えたい。でも世間体も・・・が、本音・・・」
◎「私も、そう感じた事はあったけど、実際に言われた事はない。そんなものかなあ」「気の持ちようかな」とは、OBのお母さん達の返答。その場の雰囲気、フッと明るく和んだように感じました。(^-^)

